

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 住之江

学 校 名 新北島小学校

学校長名 武知 広幸

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立新北島小学校では、第6学年 70名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率が新北島小学校では60%（全国比90%、大阪府比92%）だった。領域別に大阪府比でみると「話す・聞く」は93%「書く」は90%「読む」は88%であった。

算数の平均正答率は50%（全国比79%、大阪府比79%）で、領域別に大阪府比でみると「数と計算」は89%「図形」は85%「測定」は85%「変化と関係」は85%「データの活用」は84%であった。

理科の平均正答率は49%（全国比86%、大阪府比89%）で、領域別に大阪府比でみると「エネルギー」は72%「粒子」は98%「生命」は96%「地球」は89%であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

成果…満遍なくどの領域においても大阪府比で約90%正答している。

課題…必要な情報を見つけ、それらを分類し関係付けて、読解したり表現したりすることが課題である。

〔算数〕

成果…どの領域においても大阪府比で85%以上正答している。

課題…答えの求め方や答えに至る理由を言葉や数字（式）を用いて記述する問題と、単位分数をもとにグラフ上で考えるような問題の正答率が低い。

〔理科〕

成果…満遍なくどの領域においても大阪府比で約90%正答している。

課題…「エネルギー」を柱とする領域が弱く、特に身の回りの金属について、電気を通したり磁石に引き付けられたりするものであるかどうかはわかっていなかった。

質問調査より

成果…「自分には良いところがある」「先生は認めてくれている」「先生に相談できる」「学校に行くのは楽しい」への肯定的回答が大阪府平均より高い。また、「国語・算数・理科の勉強は好きですか」への肯定的回答も大阪府平均より高い。

課題…「平日の1日に勉強をする時間」が30分以下の児童の割合は47%で大阪府平均の1.6倍である。また、「学校が休みの日に勉強をする時間」が1時間以下の児童の割合は72%で大阪府平均の1.2倍である。これら現状から、家庭で学習内容の定着を図る工夫をさらに進めていく必要がある。また、普段の生活の中でのウェルビーイングへの肯定的回答が低いので、これも家庭と連携しながら改善を図る必要がある。

## 今後の取組(アクションプラン)

- 国語では、3つの取組によって平均正答率を上げる。
  1. 朝の読書タイムを徹底し、読書活動の充実を図る。
  2. 教科横断的に自分の考えや気持ちを書く場面を増やす。
  3. 簡単な読解問題のプリントを、継続的に取り組ませる指導体制を作る。

- 算数では、3つの取組によって平均正答率を上げる。
  1. 全国学力調査に即した様々な問題を解く機会を設ける。
  2. 授業のまとめで「本時で学習した内容」を言語化させる指導を取り入れる。
  3. 放課後個別指導による個別最適化された学習環境を作る。

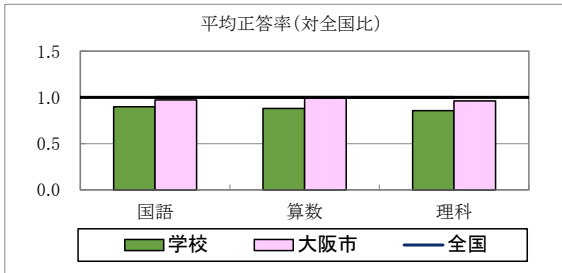
- 理科では、特に1つの取組を深化させることによって平均正答率を上げる。
  1. 実験環境を今以上に充実させ、児童の興味関心をより深化させる。

---

## 【 全体の概要 】

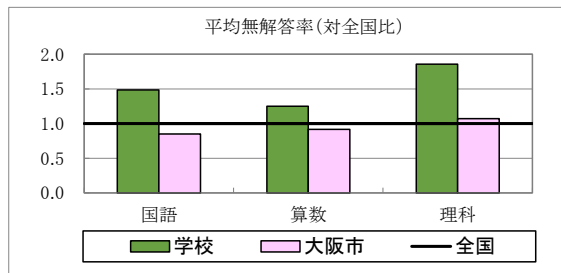
### 平均正答率（％）

|     | 国語   | 算数   | 理科   |
|-----|------|------|------|
| 学校  | 60   | 51   | 49   |
| 大阪市 | 65   | 58   | 55   |
| 全国  | 66.8 | 58.0 | 57.1 |



### 平均無解答率（％）

|     | 国語  | 算数  | 理科  |
|-----|-----|-----|-----|
| 学校  | 4.9 | 4.5 | 5.2 |
| 大阪市 | 2.8 | 3.3 | 3.0 |
| 全国  | 3.3 | 3.6 | 2.8 |



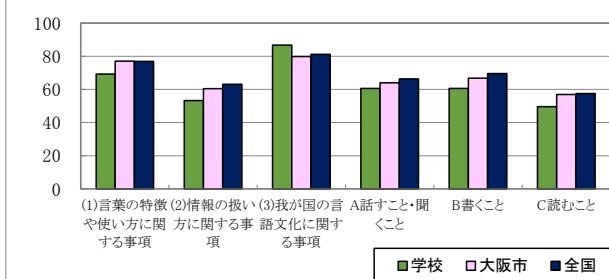
## 【 国 語 】

| 学習指導要領<br>の内容          | 対象<br>設問数<br>(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|------------------------|------------------|----------|------|------|
|                        |                  | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| (1)言葉の特徴や使い<br>方に関する事項 | 2                | 69.2     | 77.1 | 76.9 |
| (2)情報の扱い方に<br>関する事項    | 1                | 53.3     | 60.4 | 63.1 |
| (3)我が国の言語文<br>化に関する事項  | 1                | 86.7     | 79.9 | 81.2 |
| A 話すこと・聞くこと            | 3                | 60.6     | 64.0 | 66.3 |
| B 書くこと                 | 3                | 60.6     | 66.7 | 69.5 |
| C 読むこと                 | 4                | 49.6     | 56.9 | 57.5 |

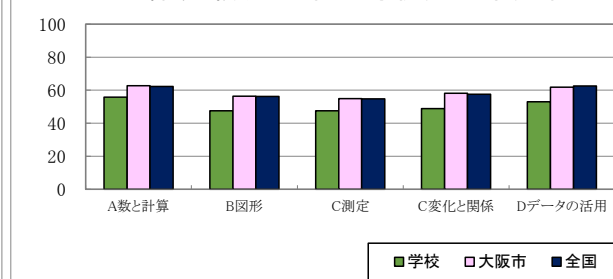
## 【 算 数 】

| 学習指導要領<br>の領域 | 対象<br>設問数<br>(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|---------------|------------------|----------|------|------|
|               |                  | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| A 数と計算        | 8                | 55.8     | 62.7 | 62.3 |
| B 図形          | 4                | 47.5     | 56.4 | 56.2 |
| C 測定          | 2                | 47.5     | 54.9 | 54.8 |
| C 変化と関係       | 3                | 48.9     | 58.2 | 57.5 |
| D データの活用      | 5                | 53.0     | 61.9 | 62.6 |

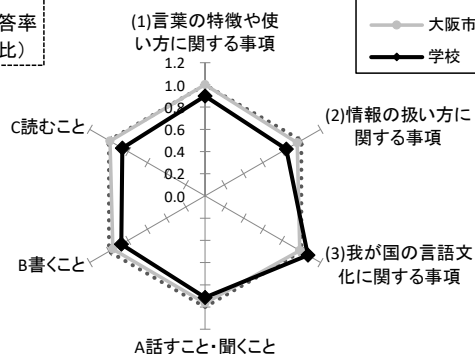
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



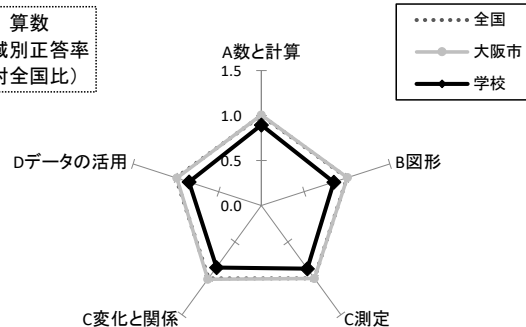
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

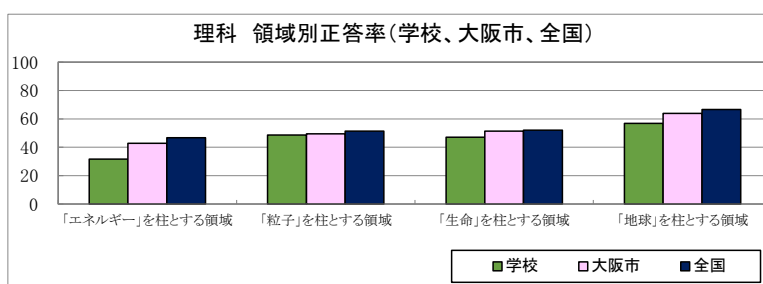


算数  
領域別正答率  
(対全国比)

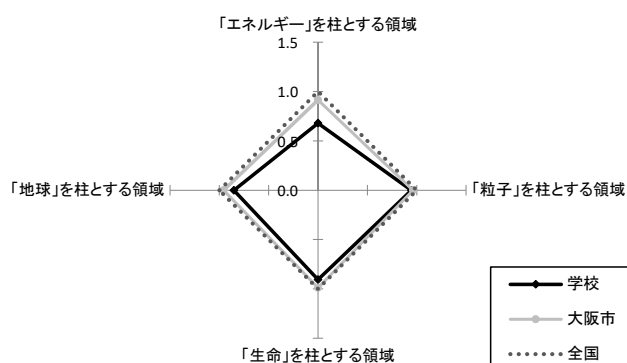


## 【 理科 】

| 学習指導要領<br>の区分・領域 |                    | 対象<br>設問数<br>(問) | 平均正答率(%) |      |      |
|------------------|--------------------|------------------|----------|------|------|
|                  |                    |                  | 学校       | 大阪市  | 全国   |
| A<br>区分          | 「エネルギー」を<br>柱とする領域 | 4                | 31.7     | 42.7 | 46.7 |
|                  | 「粒子」を<br>柱とする領域    | 6                | 48.6     | 49.5 | 51.4 |
| B<br>区分          | 「生命」を<br>柱とする領域    | 4                | 47.1     | 51.4 | 52.0 |
|                  | 「地球」を<br>柱とする領域    | 6                | 56.9     | 63.8 | 66.7 |



理科 領域別正答率(対全国比)



## 児童質問より

質問番号

質問事項

5

自分には、よいところがあると思いますか

1

2

3

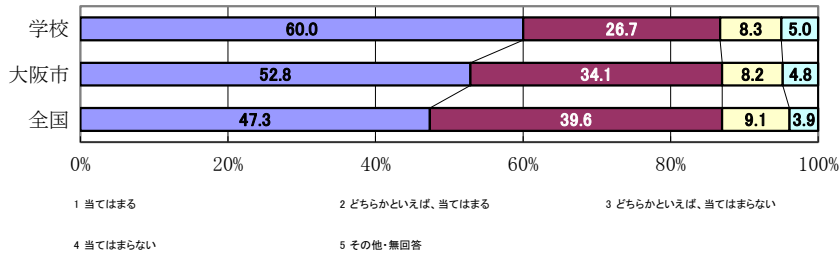
4

5

6

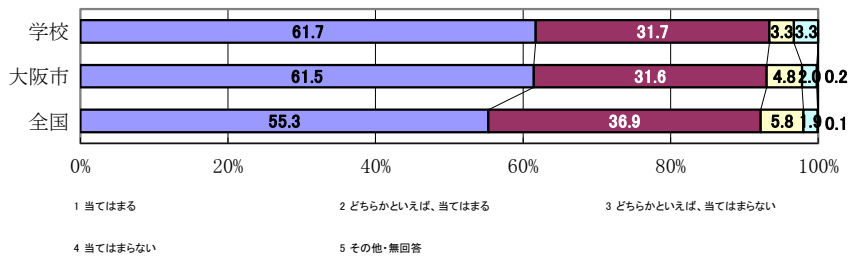
7

8



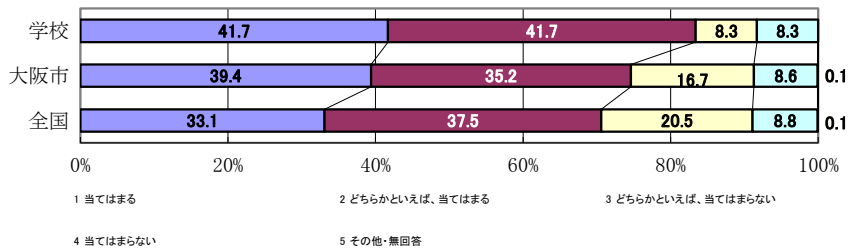
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



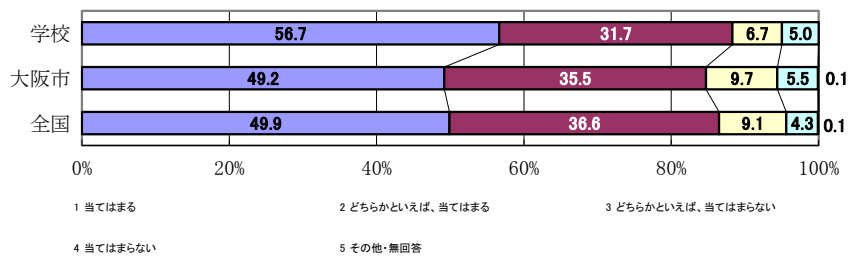
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



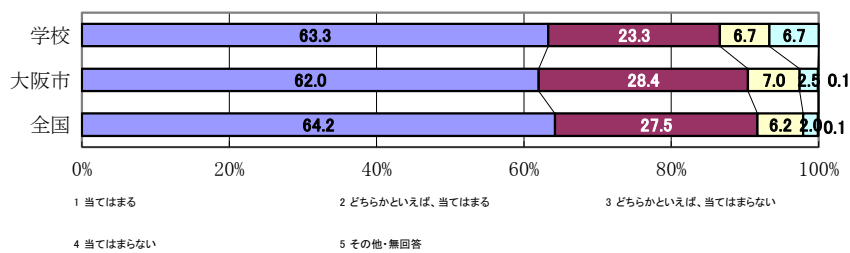
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



14

友達関係に満足していますか



## 学校質問より

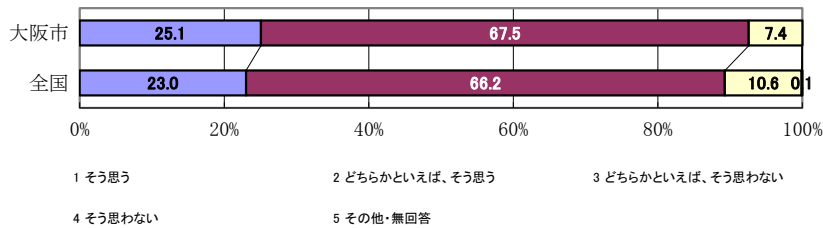
質問番号

質問事項

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

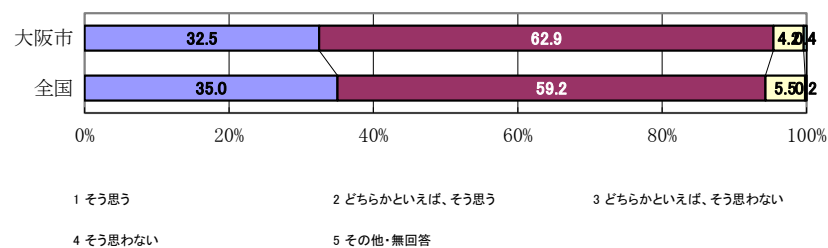
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

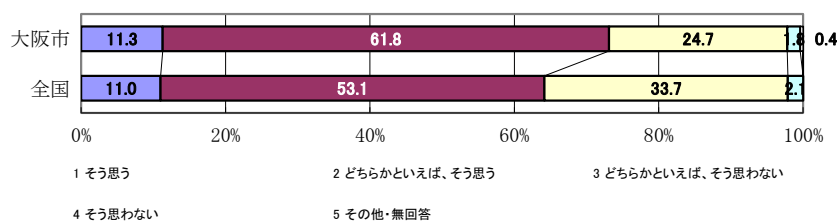
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

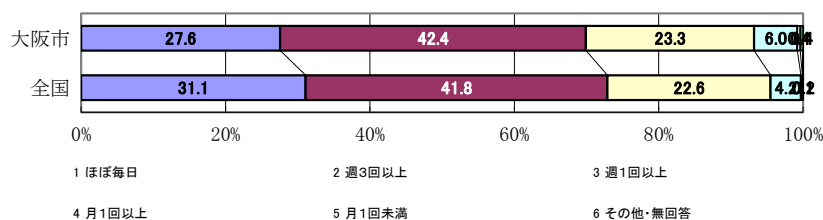
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



59

調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週3回以上」を選択



60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回以上」を選択

